

講義科目 : 住生活設計Ⅱ	単位数 : 2
担当 : 村林 桂	学習形態 : 選択科目 建築士指定科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

多様な利用主体が想定され、複雑な機能を有する地域施設の設計ができる能力を身に着けることを目標とする。課題には、高齢社会をふまえ、家族以外の人々と共同生活を行う福祉施設や、児童から成人、高齢者など地域の幅広い人々が交流を図るコミュニティ施設など、中規模施設を取り上げ、機能や構造・設備、運営方式などを総合的に理解し、計画・設計案としてまとめ上げる。

授業計画

以下の2課題を課し、個別指導を中心に行う。
グループホームの規模は3階建て以下、構造は木造、S造、RC造のいずれかとする。
コミュニティ施設の規模は3階建て以上、構造はS造又はRC造とする。

- 第1回 グループホーム (1) 出題
- 第2回 同 (2) エスキス (コンセプト)
- 第3回 同 (3) エスキス (配置計画)
- 第4回 同 (4) エスキス (平面計画)
- 第5回 同 (5) エスキス (立面・断面計画)
- 第6回 同 (6) 図面チェック
- 第7回 同 (7) 作品提出・講評、コミュニティ施設 (1) 出題
- 第8回 コミュニティ施設 (2) エスキス (コンセプト)
- 第9回 同 (3) エスキス (配置計画)
- 第10回 同 (4) エスキス (平面計画)
- 第11回 同 (5) エスキス (立面計画)
- 第12回 同 (6) エスキス (断面計画)
- 第13回 同 (7) 図面チェック
- 第14回 同 (8) 作品提出・講評
- 第15回 まとめと確認

教材・テキスト・参考文献等

課題に応じて演習中に紹介する。

成績評価方法

成績評価は、全課題の提出のある学生を対象とし、各課題の採点を総合的に評価する。成績は主に最終成果物（作品）によるが、毎回の制作プロセスについても勘案して採点する。

実務経験

一級建築士として建築設計事務所を運営している経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。

その他

作品を完成させるためには、正規の授業時間だけでなく時間外での自主的な取り組みが不可欠である。随時、時間外での相談にも応じる。
「建築製図基礎」「住生活設計Ⅰ」を履修していることが望ましい。